



「生産性改革」がカギを握る年

代表取締役社長 吉川 正明

新年あけましておめでとうございます。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることが出来ました。ありがとうございました。

これからの我が国は、IoTやAI、ロボットなどのデジタルテクノロジー革命、Webを活用した異次元ともいえるビジネスモデルとの競争、そして価値観の変化や人手不足を背景にした働き方改革など、企業経営において、

これまでの常識がこれからは非常識になるような時代がやってきました。

また、労働力不足が本格化していく中で、これからの中小企業にとって、生き残るためにには、顧客に選ばれるだけでなく、社員からも選ばれる会社でなければならず、今年はまさに、「生産性改革」が非常に重要な年になると感じております。

弊社も今年創立45周年を迎えま

すが、これからは今までの延長線上の未来ではなく、全く新しい未来を作るべく、様々な業務改革、ビジネスモデルの創造を行っていきたいと考えています。そして、弊社で取り組んだ様々な事例を、失敗事例も含め皆様と共有し、共にこの時代を乗り越えていく、そんな1年にして参りたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

夢追い人

今年もまた1つ年齢が積みあがります。世の中も同様に1年歴史が蓄積されます。

ふと気付くと、自身の成長目標はなんであろうと悩む事実があります。企業もマンネリズムでいると新鮮味や独創性が低下する恐れがあります。現社会は少子高齢化となり労働生産革命が始まりつつあるかと思います。それは生産年齢人口の減少、コンピューターの進化による雇用の在り方が変化し、働き方が多様化しているこ



常務取締役 菊地 晃

健康は貴重な財産

代表取締役会長 岩崎一雄／総務部長 岩崎千鶴子

夢追い人

とです。「価値」のあり方も人それぞれであるので、当たり前のことが非常識になり、非常識が当たり前の社会になる時代です。注力していきたいのは、個人の元気と幸せが職場（組織）の元気です。企業の夢（目標）も働く人の幸せの集合体です。自身をコントロールできるのは自身です。いかなる状況下でも自身ができる最善は何かを考え行動していただきたいと思います。常に夢（目標）を追い「幸せ」を現実化させていきたいと願う次第です。

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別の御厚情を賜りまことにありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

さて、毎年思うことありますが、「健康」は金銭に変えることが出来ない「貴重な財産」であると思いま

す。つまり「健康」は、いくら「お金」を積んでも買うことが出来ないほど、高価で貴重な財産だと言えます。

皆様は、「健康財産」を積むために、どれ程日常努力をされていることでしょうか？失った「健康財産」はなかなか取り戻すことはできません。ひとたび、病に侵されると、長期間の治療が必要になったり、時には病とその先の人生を付き合

わなければならなくなったりします。そうなると、夢と希望に満ちた人生が一変してしまうかもしれません。

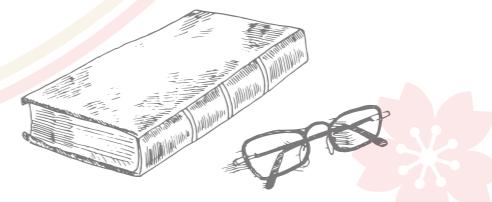
年頭にあたり、これからの人生を是非とも、この「健康財産」を大事にして壮大な人生をお過ごし頂くよう心より祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

読書習慣

皆さんは、ご自身の目標を即答出来ますか？「仕事目標」と「家庭目標」の両輪でバランスを取りながら目標を立ててみませんか？自分自身のやりたい事を明確にし、行動計画と進捗状況を確認し、軌道修正しながら進むと良いかと思います。

人の行動を支えているのは様々な情報です。その情報を得てアイデアや好奇心等が生まれ、やり甲斐や目標がよりハッキリします。今やネットから情報が得られますが、情報過

多の中から取捨選択をする求められます。その点「読書」は、自分自身の感性や価値観を磨くためにも、私は読書の習慣化を薦めます。物心共に豊かな幸せを得て、ワンダフルな1年にしましょう。今年も宜しくお願い致します。



取締役 高島 正明